

## ☆数学科の目標

## (数と式)

数を正の数と負の数にまで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解するとともに、数量などの関係や法則を一般的にかつ簡潔に表現し、処理できるようにする。

## (図形)

平面図形や空間図形についての観察、操作や実験を通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察する基礎を培う。

## (数量関係)

具体的に事象を調べることを通して、比例、反比例の見方や考え方を深めるとともに、数量の関係を表現し考察する基礎を培う。

## (資料の活用)

目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。

## ☆評価の観点

- ・数学への関心・意欲・態度  
授業態度、出席状況、提出物
- ・数学的な見方や考え方  
定期テスト
- ・数学的な技能  
定期テスト
- ・数量や図形などについての知識・理解  
定期テスト

## ☆一年間の学習

月	学習すること	学習のねらい
4	<b>1 正の数・負の数</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の範囲を0より小さい数の範囲にまで拡張する。</li> <li>・計算の可能性を広げ、数についての処理がいつそう手際よくできるようにする。</li> <li>・数の集合と四則計算の可能性を考える。</li> <li>・</li> </ul>
5	1 正の数・負の数	
6	2 正の数・負の数の計算	
7	<b>2 文字の式</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を使って、数量や数量の間の関係を一般的に表したり、計算法則を簡潔に表したりすることを通じて、文字を用いることの意義や必要性に気づき、表された式を読んだり、大小関係を考えたり、式を計算することを通して、文字の式を利用するための基礎的な処理の方法を身につける。</li> </ul>
9	1 文字を使った式	
10	2 文字式の計算	
11	<b>3 方程式</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を含む等式から、文字の値を求める方法を理解し、これを用いることによって、実際の問題が形式的、能率的に処理ができることを知り、さらにその方法を活用できるようにする。</li> <li>・比が等しい関係と比例式について理解する。</li> </ul>
12	1 方程式	
1	2 方程式の利用	
2	<b>4 変化と対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事象の中にある、ともなって変わる2つの数量に注目して、比例や反比例の関係を見だし、その変化や対応のようすを考察することを通して、比例や反比例に対する理解を深め、それを利用できるようにする。</li> </ul>
3	1 関数	
4	2 比例	
5	3 反比例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな平面図形について、観察、操作、実験を通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深め、基礎的な知識、技能を習得して、それらを活用する能力を伸ばす。</li> </ul>
6	4 比例、反比例の利用	
7	<b>5 平面図形</b>	
8	1 直線図形と移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな立体図形の観察、操作、実験を通して、空間図形に対する直感的な見方や考え方を深めるとともに、空間図形の性質について論理的に考察する能力を高める。</li> <li>・立体図形の計量についての能力を伸ばす。</li> </ul>
9	2 基本の作図	
10	3 円とおうぎ形	
11	<b>6 空間図形</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた資料の整理の仕方を理解し、その資料から傾向を読み取るとともに、判断し、活用できる力を育てる。</li> </ul>
12	1 立体と空間図形	
1	2 立体の表面積と体積	
2	<b>7 資料の活用</b>	
3	1 度数分布	
4	2 代表値と散らばり	
5	3 調べたことをまとめ、発表しよう	

## ☆学習の仕方

○授業では新しいことを学びます。授業に集中し、しっかり学びましょう。

○家庭では、授業で学習したことを定着させるため復習を中心に行ない、しっかり定着させましょう。